

No.15-29

2015年5月14日  
エーザイ株式会社

第51回米国臨床腫瘍学会年次総会におけるエーザイのがん領域の開発品・製品に関する演題について  
—「ハラヴェン®」(エリ布林)の軟部肉腫および  
「レンバチニブ®」(レンバチニブ)の腎細胞がんに対する臨床試験結果を口頭発表予定—

エーザイ株式会社(本社:東京都、代表執行役 CEO:内藤晴夫)は、2015年5月29日から6月2日まで米国シカゴで開催される「第51回米国臨床腫瘍学会(American Society of Clinical Oncology: ASCO)年次総会」において、当社が創製した「ハラヴェン®」(一般名:エリ布林メシル酸塩、以下「エリ布林」、ハリコンドリン系微小管ダイナミクス阻害剤)および「レンバチニブ®」(一般名:レンバチニブメシル酸塩、以下「レンバチニブ」、新規結合様式を有する選択的チロシンキナーゼ阻害剤)に関する最新試験データを発表しますのでお知らせします。

主な発表として、エリ布林では、6月1日(月)に軟部肉腫を対象とした臨床第Ⅲ相試験(309試験)の結果が口頭発表されます。また、本演題は、5月30日(土)10時30分で開催されるASCOのオフィシャルプレスカンファレンスのプログラムにも選択されました。

レンバチニブでは、6月1日(月)に転移性腎細胞がんを対象とした臨床第Ⅱ相試験(205試験)の結果が口頭発表されます。

また、ポスターセッションでは、レンバチニブの甲状腺がんを対象とした臨床第Ⅲ相試験(SELECT試験)のバイオマーカーに関する解析結果などが発表されます。

当社は、がん関連領域を重要なフランチャイズ領域と位置づけており、最先端のがん研究から革新的な創薬を行い、がん患者様とご家族、さらには医療従事者の多様なニーズの充足とベネフィット向上に、より一層貢献してまいります。

#### ■口頭発表

製品・化合物	発表演題・予定日時(現地時間)
エリ布林 (ハラヴェン) 抄録番号: LBA10502	エリ布林とダカルバジンと比較する平滑筋肉腫および脂肪肉腫患者を対象とした多施設共同、無作為化、非盲検、臨床第Ⅲ相試験 口頭発表:6月1日(月) 15:48-16:00
レンバチニブ (レンバチマ) 抄録番号: 4506	転移性腎細胞がん患者を対象としたレンバチニブ単剤投与、エベロリムス単剤投与、レンバチニブ/エベロリムス併用投与の3群による無作為化臨床第Ⅱ相試験 口頭発表:6月1日(月) 11:45-11:57

(次頁に続く)

■主なポスター発表

製品・化合物	発表演題・予定日時(現地時間)
レンバチニブ (レンビマ) 抄録番号: 6013	放射性ヨウ素治療抵抗性分化型甲状腺がん患者を対象とした レンバチニブの効果と安全性: VEGF 標的治療歴の有無別による影響 ポスター発表: 5月30日(土) 13:45-16:45、ポスター議論: 16:45-18:00
レンバチニブ (レンビマ) 抄録番号: 6014	放射性ヨウ素治療抵抗性分化型甲状腺がん患者を対象とした臨床第Ⅲ相試験 (SELECT 試験)におけるアウトカムと抵抗性に関する薬力学バイオマーカー ポスター発表: 5月30日(土) 13:45-16:45、ポスター議論: 16:45-18:00
レンバチニブ (レンビマ) 抄録番号: 6048	放射性ヨウ素治療抵抗性分化型甲状腺がん患者を対象とした SELECT 試験における年齢およびレンバチニブ投与の全生存期間への影響 ポスター発表: 5月30日(土) 13:45-16:45

(注)SELECT 試験: Study of E7080 “LEnvatinib” in Differentiated Cancer of the Thyroid

以上